

金石範著

『新編 鴉の死』

大韓民国成立、南北分断以降の済州島を舞台に、四・三事件という動乱の渦中を生きる民衆を描いた短編三部作「看守朴書房」「鴉の死」「観徳亭」、そして〈語り〉の文学の傑作「万徳幽霊奇譚」。金石範文学の原点と言える、初期代表作を集成！巻末には『火山島』の韓国語版訳者・金煥基氏との対話、および詳細年譜を収録しています。

目次

看守朴書房
鴉の死
観徳亭
万徳幽霊奇譚
対談 ディアスポラの想像力、金石範と『火山島』

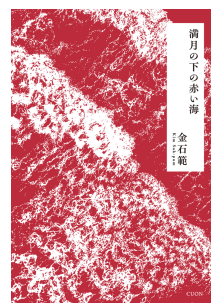
刊行日：2022年12月10日
ISBN：978-4-910214-42-9 C0093
定価：3,960円（3,600円＋税）
頁数：400頁
判型：四六版
製本：上製本

著者：金石範

1925年、済州島出身の両親のもと大阪市で生まれる。長い間韓国現代史上のタブーとされてきた済州島四・三事件をテーマにした小説などを執筆。代表作に「鴉の死」（本書所収）、「火山島」、「死者は地上に」、「過去からの行進」、「海の底から」、「満月の下の赤い海」など。今秋、最新作「夢の沈んだ底の『火山島』」を『世界』11月号で発表した

【金石範小説集 好評既刊】
『満月の下の赤い海』

2017年から2022年に発表された小説3作と岡本厚氏（『世界』元編集長）との対談を収録。読売新聞、週刊読書人などでご紹介いただきました。



ご注文はFAX（03-5244-5428）まで

「一冊！取引所」「子どもの文化普及協会」からもご注文可能です

番線印		新編 鴉の死
	冊	[著]金石範 978-4-910214-42-9 C0093 定価3,960円（3,600円＋税）
ご担当者様		満月の下の赤い海
	冊	[著]金石範 978-4-910214-37-5 C0093 定価3,300円（3,000円＋税）
株式会社クオン 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-7-3 三光堂ビル3階 TEL：03-5244-5426 FAX：03-5244-5428 http://www.cuon.jp/		